

2026年7月27日

報道機関 ご担当者 各位

河合塾グループ
(株)KJホールディングス

「けいはんな学研都市における地域滞在型学習を通じた 地域活性化の取り組みに関する協定」を締結

～新設校『ドルトンX学園高等学校』の生徒が地域と協働した探究学習を実施～

京都府、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、株式会社けいはんな、および株式会社KJホールディングスの4者は、2026年7月17日、けいはんな学研都市（以下「同都市」）における地域滞在型学習を通じ、同都市の発展と地域活性化に向けた取り組みを推進するため、連携協定を締結しました。

本協定により、河合塾グループが2027年4月に新設するドルトンX学園高等学校*の滞在型学習拠点の一つを同都市に開設する準備を進めます。同都市における産学公住が連携したフィールドでの探究活動を通じ、イノベーションを生み出す人材育成を推進してまいります。*設置認可準備中



左から、荒木康寛(株)けいはんな代表取締役社長、古屋輝周(株)KJホールディングス執行役員、山口悟郎(公財)関西文化学術研究都市推進機構理事長、西脇隆俊京都府知事

■ 拠点開設の経緯

ドルトンX学園高等学校は、「自らの足で探究し、破天荒に出会い、フロンティアを共創する」というめざす生徒像の実現に向け、米国ミネルバ大学の教育モデルを参考にした学びを特長としています。同校の最大の特徴は、地域に飛び込んで取り組む探究学習であり、高校1年次の3学期から数カ所の地域拠点に滞在して実施します。

一方、けいはんな学研都市は、大学や研究機関、文化施設が数多く立地し、研究・教育・産業・文化が高度に集積する知的拠点です。サイエンス、テクノロジーに関わる探究テーマの宝庫である同都市は、「持続的なイノベーションを生み出す都市」をめざし、産学公住の連携のもと、これまでも画期的な新事業や新サービスが創出されてきました。

こうしたドルトンX学園高等学校とけいはんな学研都市のビジョンの親和性を



ドルトンX学園高等学校とけいはんな学研都市拠点での連携について説明する古屋

踏まえ、今年、河合塾グループが展開する宿泊型学習プログラム「まるっと探究ツアー」での連携を実施。両者で得た手応えを契機に、今回の協定締結に至りました。

■ 拠点開設に向けて連携協定を締結

(1) 締結日

令和8年7月17日

(2) 連携協力事項

- 学習拠点の開設・運営に関すること
- 地域資源を活用した課題解決型探究学習プログラムの企画・実施及び同プログラムを通じた地域活性化に関すること
- 地域住民、企業、関係団体等との交流機会の創出及び関係人口の創出・拡大に関すること
- 同校の生徒の起業支援に関すること
- 同都市の情報発信、魅力発信及びブランディングに関すること
- 人材交流及び人材育成に関すること
- 教育的課題解決に関すること
- 前掲のほか、本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること

■ 主な取り組み

(1) 探究テーマ

- 人工知能やロボティクスや、バイオサイエンス、フードテクノロジー、ウェルビーイングにかかわるテーマや、京都・奈良の歴史、芸術や茶などの文化にもとづいた探究テーマ など

(2) 学習拠点・生活拠点

- 学習環境として、けいはんなプラザ内の施設
- 生活・宿泊施設として、研究者用の住宅設備や都市内の賃貸住宅 など

〔株式会社KJホールディングスについて〕

塾・予備校や中学・高等学校、専門学校をはじめ、教育に関するさまざまなサービスを展開する河合塾グループの本社です。

所在地：東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア

代表：代表取締役社長 河合 英樹

WEBサイト：<https://www.kawaijuku.jp/>

〔公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構について〕

関西文化学術研究都市の振興と地域の産学官連携・文化・学術・国際交流を促進し、研究開発やまちづくりの支援を行う公益財団法人です。

所在地：京都府相楽郡精華町光台1丁目7

代表：理事長 山口 悟郎

WEBサイト：<https://www.kri.or.jp/>

〔株式会社けいはんなについて〕

けいはんな学研都市のまちづくり支援や施設運営、産学官連携・地域活性化などの事業を行う企業です。

所在地：京都府相楽郡精華町光台1-7

代表：代表取締役社長 荒木 康寛

WEBサイト：<https://www.keihanna-plaza.co.jp/>

「通信制×全寮制×国内外での探究学習」を実践するドルトンX学園

ドルトンX学園高等学校は、「自らの足で探究し、破天荒に出会い、フロンティアを共創する」というめざす生徒像の実現に向け、米国ミネルバ大学の教育モデルを参考にした学びを特長としています。同校の最大の特徴である地域に飛び込んで取り組む探究学習は、高校1年次の3学期から数カ所の地域拠点に滞在して実施されます。オンラインで教科学習に、地域に出てフィールドワークに取り組みます。

1年次(1～2学期)と3年次は、岩手県の一関キャンパスと、河合塾グループが連携協定を結ぶNTT東日本株式会社が運営する、調布市の東京キャンパスに1学期ずつ滞在し、学びを深めます。



－ 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先 －

河合塾グループ広報センター 【TEL】 03-6811-5508

【E-mail】 press@kawaijuku.jp 【受付時間】 9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）